

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人名	伊藤 孝男 先生 (かるたの達人)	所属	
実施校	新城市立開成小学校		
実施日	平成21年10月23日(金曜日)		
実施学年・学級	全校児童(25名) 保護者・地域住民(25人)		
教科等名	生活・総合的な学習の時間	単元・題材名	親子で体験「百人一首」
授業の目標	百人一首を用いた遊びを体験し、昔からの遊びや日本の伝統文化に興味・関心を持つことができる。		
授業の実際	 <ol style="list-style-type: none"> 1 達人の紹介を聞く。(教師) 2 達人の話を聞く。(達人) <ul style="list-style-type: none"> ・ 札の並べ方や競技について 3 百人一首大会の練習をする。(達人) <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶の仕方、競技の始め方を説明 ・ 良く知られている五首を一首ずつ読みながら、取り札のある場所をそれぞれ確認 ・ 五首を使って練習 ・ 百人一首を覚えるコツについて 4 百人一首大会を行う。(達人) <ul style="list-style-type: none"> ・ 親子が同じチームで対戦 ・ 札を数える 5 達人に感想とお礼を言う。(教師) 		
児童生徒の感想	<p>< 児童の感想 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読み札を見ないで百首をすらすら読んでいたので、びっくりしました。 ・ 達人の読み方は、大きな声で歌うみたいで、すごいなあと思いました。 ・ 百人一首のルールが分かりました。 ・ 三十首おぼえることを目標にがんばってみようと思いました。 <p>< 保護者の感想 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 十数年ぶりに、百人一首を行いました。まだ、覚えている歌があつてとてもうれしくなりました。子どもと共に体験でき、よかったです。 ・ 達人から「百人一首は、さわって取ることによって覚える」と言われ、取ったときのうれしさが大切なんだと思いました。家庭でもやってみようと思います。 		
教師の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 百人一首だけでなく、札をきちんと並べることや正しい挨拶の仕方など、普段、忘れがちとなっている礼儀まで児童に教えていただいた。 ・ 参加者が小学1年生から保護者(お年寄り)までと年齢差が大きかったが、達人の解説が分かりやすかったので、全員楽しく行うことができた。 		